

かぬま フラッシュ

世界大会出場 臼井麗香さんに特別賞 — ジュニアゴルフ日本選抜で優勝 —



北押原中1年の臼井麗香さんが、「世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会」の女子11～12歳の部で優勝し、市役所を表敬訪問しました。市長から鹿沼市特別賞が授与された麗香さん、「ショットもパターも調子がよかった」と大会を振り返ります。

小学3年からゴルフを始め、ほとんど毎日3時間、祖父である正一さんの指導で練習を欠かしません。厳しい練習ですが「ゴルフは楽しい」と笑顔で話します。

現在は、世界大会へ向けて最終調整中。これからの活躍に目が離せません。がんばれ！麗香さん！

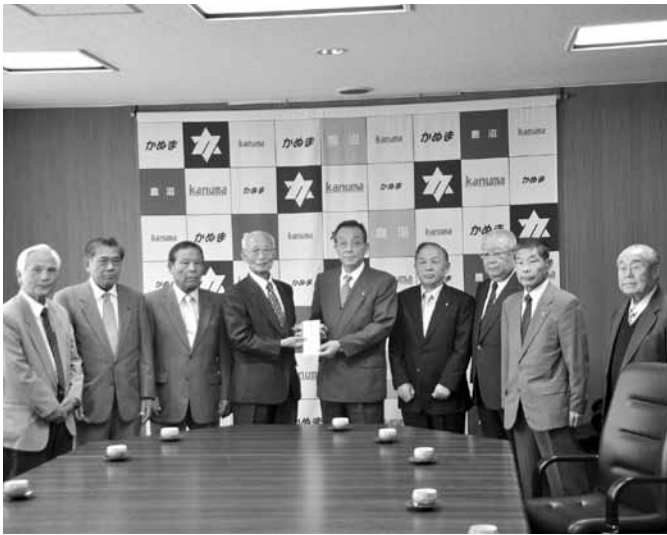
さつき万葉苑がオープン — 第40回鹿沼さつき祭り —

恒例の鹿沼さつき祭りが、5月28日から6月6日まで開催され、多くの来場者でにぎわいました。

今年は、開催40周年を記念して新たに市花木センターに庭園を整備、さつき文化の伝承と品種保存を目的に「さつき万葉苑」と名付けられました。茶室「鹿樹庵」では、オープンを記念して茶会が開かれました。茶会には、2013年に「国際庭園博覧会」開催を予定している韓国順天市からの訪問団のみなさんが、日本の伝統的なお茶を味わっていました。

今後、この庭園は、世界一の「さつき博物館」を目指していきます。みなさんも、ぜひ足を運んでみてください。





みんなでがんばろう！日本 — 鹿沼市自治会連合会が義援金 —

市自治会連合会は、東日本大震災からの復興を支援するため、3月17日の役員会で義援金募集を決定、義援金を募る活動を行いました。

市内17の地区協議会へ協力を依頼、145自治会に加入する28,708世帯から寄せられた義援金は、**25,133,342円**。

市民のみなさんの温かい思いは、日本赤十字社を通じ被災地のみなさんに届けられます。

泥んこ田植えに大歓声！ — 南摩ふれあい農園田植え事業 —

毎年恒例の南摩ふれあい農園の田植えが、5月21日、コミュニティセンター近くの水田で行なわれました。

南摩中生徒を中心に小学生や高齢者など約130人が参加しました。農園のスタッフの手ほどきを受けて作業を開始。班ごとに横一列に並び、昔ながらの手植えで、もち米の苗を植えました。泥のヌルヌルした感触やヘビ、カエルの出現に歓声をあげながら、田植えを楽しんでいました。

作業後は田植えの終了と豊作を祈願し、赤飯のおにぎりやジュースで「サナブリ」。10月に稲刈り、12月には収穫祭が行なわれます。



ギョギョッ！大きくなって戻ってきてね — アユ放流体験 —

5月15日、小倉川漁業協同組合主催のアユの稚魚放流が小倉川の柳橋で行われました。

自然と魚に親しむため、昨年に続いて2回目の実施。清洲保育園の園児や保護者など約60人が参加しました。

体長約10cmのアユの稚魚100kgをバケツに分けてもらい、川岸からゆっくり傾けながら放しました。

初めは元気のいいアユに驚いていましたが、次第に笑顔で放流を楽しんでいました。

放流後、園児らはお菓子とジュースをプレゼントされ大満足でした。